



こうか 市議会 だより

city
assembly
report

Vol. 18

おもな内容

- 新年度予算特集 ————— 2~5
- 議案審議 ————— 6~7
- 常任委員会報告 ————— 8~11
- 議会改革特別委員会 ————— 12
- 各会派による代表質問 — 13~15
- 一般質問目次 ————— 16
- 一般質問 (14名が問う) ——— 17~21
- 特別委員会等の動き ——— 22~23
- くつろぎこうか [シリーズVol.14] — 24
甲賀の味シリーズ⑥



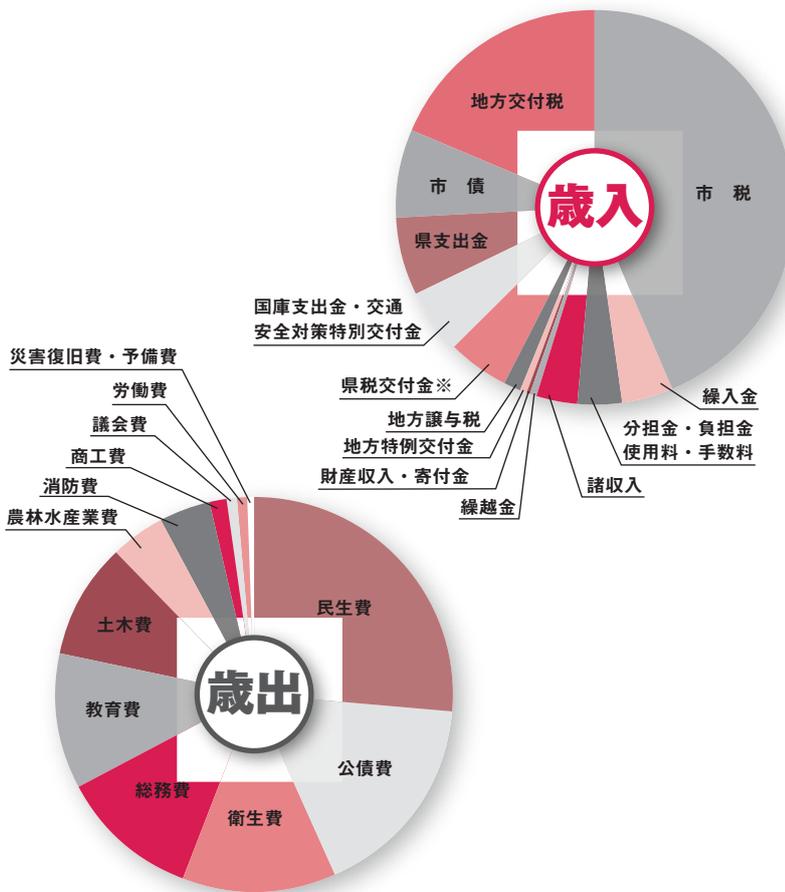
作家たちが町を美術館に

窯元散策路の仲間たち展

平成21年度 甲賀市 一般会計

緊縮財政

306億円



甲賀市の平成21年度一般会計予算は、対前年度マイナス4.2%の306億円。合併時と比べると、約100億円減の緊縮財政となっています。その主な要因は、国の三位一体改革による地方交付税の減、県の補助金の減、さらには景気動向を反映して、法人税が前年度より約10億円落ち込むことが予測されているため「入るを量りて、出るを制す」予算編成となっています。歳入・歳出をグラフにすると次のようになります。

各会計別予算額《総括》 (単位：千円・%)

会計名	年度	21年度	伸率
一般会計		30,600,000	△4.2
特別会計	国民健康保険	7,930,000	△2.2
	老人保健医療	50	△100.0
	後期高齢者医療	1,479,000	21.9
	介護保険	4,553,000	7.1
	公共下水道事業	3,472,000	△8.6
	農業集落排水事業	1,076,000	△25.5
	土地取得事業	14,400	△96.5
	野洲川基幹水利施設管理事業	21,827	45.4
	鉄道経営安定対策基金	22,000	0.5
	鉄道施設整備基金	22,160	△49.6
	国民健康保険診療所	584,000	9.9
	浄化槽管理事業	101,000	△54.5
	小計		19,275,437
企業会計	病院事業	1,089,907	4.7
	水道事業	4,479,411	△5.2
	小計		5,569,318
合計		55,444,755	△5.4

※企業会計の予算額は、「収益的支出」と「資本的支出」の合算とする。

き継ぎ事業・経済不況のなかで、起債の償還期間が据置期間を経過することによって、合併時に比べて9億7528万円の増加)

(3) 旧5町で計画した大型事業の継続・実施について

●甲賀駅周辺、寺庄駅周辺、長野地区のまちづくり交付金事業、スポーツの森整備、土山体育館地域振興事業、農村振興整備事業などで、16年68億、17年89億、18年66億…におよんでいる。

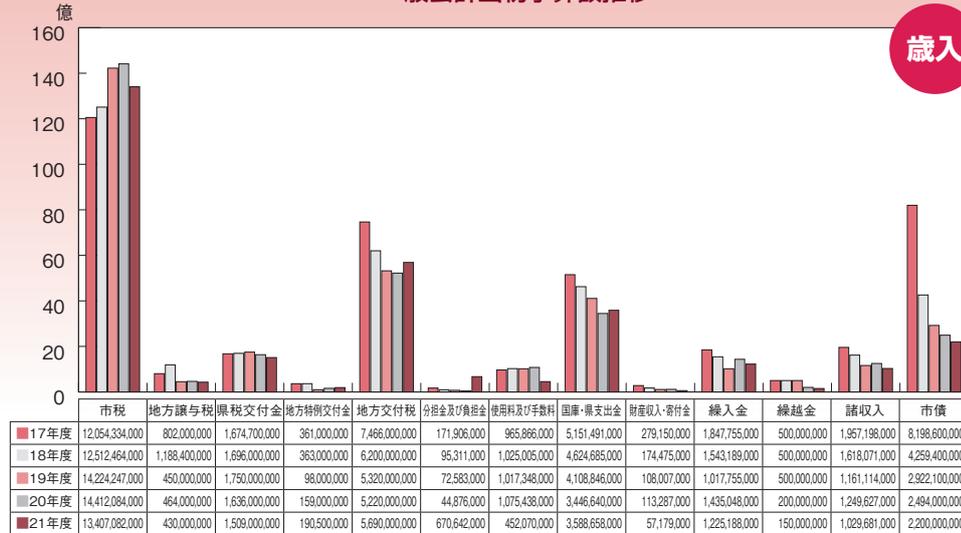
(4) 権限移譲や制度改正で増加する扶助費

●老人施設入所費、障害者自立支援事業、児童扶養手当などの権限移譲や制度改正や高齢者率の進行によって、扶助費は8億3千万円の増加。

(5) 発揮できない合併のスケールメリット

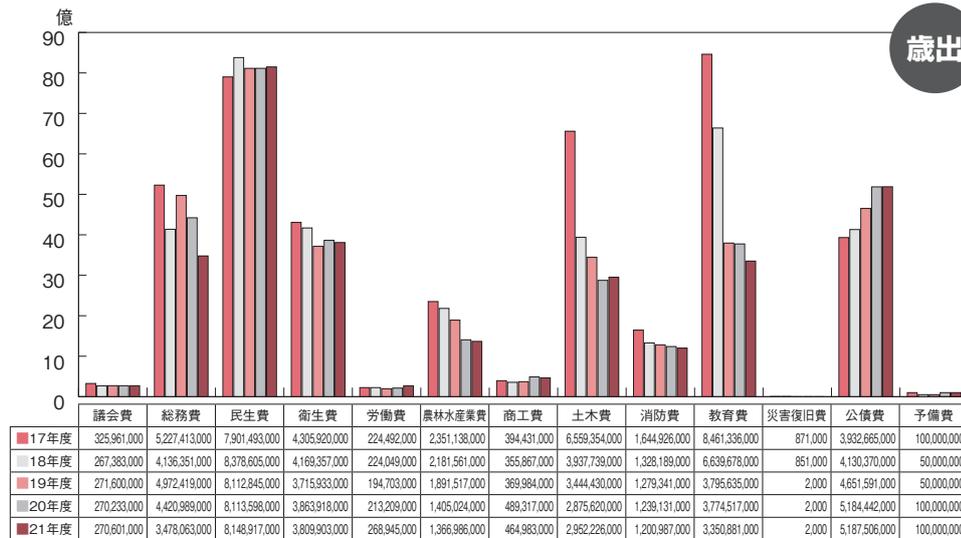
●職員人件費は、合併時に比べて19年度決算では4億5千万円の減。物件費で6億2千万円の減、補助費は19年度決算と比べて、6億1千万円の減。

一般会計当初予算額推移



歳入では、地方交付税が落ち込み、74億6600万円から56億9000万円と、28億円の減。国庫・県支出金も51億5149万円から35億8865万円に減。市税は一時期伸びを示しましたが、新年度は法人税等の落ち込みで減となっています。

一方歳出では、棒グラフで顕著なのは教育費。学校施設の耐震化などの建設費による影響。市民の暮らしにかかわる民生費は一定堅持されているものの、農林水産事業費・土木費が大幅に減となっています。逆に公債費が高くなっていることもグラフから明らかです。



5町が合併して甲賀市が誕生して5年目の予算です。この5年間の歳入・歳出予算を比べてみると、歳入も歳出も大きく減額されていることがわかります。棒グラフはより詳細にしたものです。

甲賀市誕生から5年間の推移

厳しい財政運営の具体例と今後の見直し

(1) 「サービスは高く、負担は低く」とした合併調整の主な影響

①公共料金

- ◆上水道料金(2ヶ月で30㎡使用の場合、一番高い甲南=5980円と、一番低い土山=3100円の平均4380円よりさらに安価とするために、合併から10年間で20億円投入して激変緩和策を講じている)
- ◆下水道料金(2ヶ月で30㎡使用の場合、土山が4900円と高かったが、水口の3806円に合したため、繰上基準額以上に繰りだしている)
- ◆国民健康保険税(甲賀町は57150円に対して、他4町の平均は7万円前後。このため低い甲賀を基準として調整。そのため一般会計からの繰入額が多い)

②福祉関係

- ◆在宅身障者福祉手当(水口・土山では制度化されていなかった。他にあわせる方向で月額10000円の支給に)

- ◆福祉車両の助成(土山・甲賀を除く3町は制度化していたため調整。年額15000円の助成)
 - ◆敬老祝い金(水口だけが所得制限を適用していたが他はない。所得制限撤廃して全市に)
 - ◆福祉医療費助成(一部の町で実施していた母子家庭や68歳・69歳老人の単独事業を全市に拡大)
- ③交通関係
- ◆巡回バス事業(中学生以上の定期券の場合、一番低い水口で調整)
- ④教育費関係
- ◆児童生徒通学補助の制度化は、土山・信楽で。公共交通機関補助は、土山・甲賀・信楽で実施されていたものを全市に拡大。

(2) 旧5町で増発した起債の元金償還

- ◆合併後の公債費の増加(八口物事業、施設に対して旧町からの引

いす 出るを制す せい

予算特別委員会

「稼ぐ」「削る」「守る」

甲賀市総合計画の推進に向け効果的かつ効果的な行政運営を図るため「稼ぐ・削る・守る」をポイントに「入るを量りて、出るを制す」、つまり歳入に見合った歳出を基本として、財務部局が、一般財源の配分を行い、その範囲内で、それぞれの部局が、実施すべき事業を、取捨選択して予算編成する方式で、昨年に続いての「枠配分方式」です。各所管では、事業と事務の徹底した見直しと、コスト意識の向上を図ることに重点を置いた予算編成になっています。市民の皆さまには6つの目標を設け安全、安心なまちづくりをめ

平成21年度甲賀市一般会計予算について、付託された予算特別委員会では、4日間にわたり各部局に詳細な説明を求め、慎重に審査しました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

集中審査

財政状況は、連続で厳しさが増しており、昨年よりさらに厳しい状況となりました。

世界的な不況の中で本市においても市税が約10億円減少しており、各種基金の繰り入れにより編成されました。

安全・安心のまちづくりへ

目標4 地域の特性を生かし、元気な産業を伸ばす

農地・水・環境向上対策事業	57,376
中山間地域直接支払交付金	37,033
間伐材搬出対策事業補助(新)	14,700
県民参加の里山づくり事業(新)	10,400
強い農業づくり交付金事業(新)	7,086
鳥獣害対策・有害鳥獣駆除事業	12,063
観光協会補助	12,640
経済振興特区推進事業(信楽特区)	13,087
信楽焼振興事業補助	9,271
(仮)くすり学習館整備事業	157,924
中小企業融資制度推進事業	90,707
商工会事業補助	36,000
ふるさと雇用再生特別交付金事業(新)	31,931
緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業(新)	28,069

(単位/千円)



(仮)くすり学習館完成予想図

目標5 たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる

図書館図書の購入	26,000
スポーツ少年団活動補助	5,670
スポーツ振興事業委託	13,895
教育相談・適応指導等ケアサポート事業	36,124
児童生徒就学援助事業	35,600
市内遺跡緊急発掘調査事業(紫香楽宮跡)	18,726
市史編纂事業(市史分野編第6巻編纂・刊行)	19,610
地域創造事業(新)	4,858

(単位/千円)



スポーツ少年団活動風景

協働の目標 市民と行政の協働により、まちの成長力を高める

区事務活動・地域区長会交付金	52,253
市民活動支援補助	1,900
自治ハウス整備補助	6,800
コミュニティ助成事業補助	8,500
テーマコミュニティ活動支援事業	5,822
広報あいこうか発行	36,635

(単位/千円)

厳しい財政のなか 優先すべきは「生活重視と財政強化」

● 予算特別委員会委員 (議席番号順) ◎委員長 ○副委員長

◎村山 庄衛	○松本 昌市	山川 宏治
今村 和夫	葛原 章年	岩田 孝之
友廣 勇	辻 重治	伴 資男
福西 義幸	酒巻 昌市	木村 泰男
土山 定信	鵜飼 勲	山岡 光広

い はか 入るを量りて

中嶋市政のキーワード

ざして予算の審査をしました。前年度対比4.2ポイント減少した306億円の緊縮予算となっています。予算特別委員会では、多くの質疑が集中し議論しました。

反対討論では、緊迫した財政の原因究明、確保の工夫など講じる必要があります。高齢者にしわ寄せされているなどの意見がありました。賛成討論では、硬化した現状では自助努力だけでは補えない中で、努力されたのは評価できる。市民に理解を得られると考えると、賛成との意見がありました。



審査する予算特別委員会

主な事業 主な施策

目標 1 生活の安心感を、みんなで育てる

老人介護 介護激励金	21,300
後期高齢者医療事業 (繰出金)	892,605
介護保険事業 (繰出金)	645,408
障害福祉サービス利用者負担助成 (新)	3,956
障害者 (児) 自立支援給付事業	747,282
発達支援事業 (新)	2,092
社会的事業所運営助成事業 (新)	6,932
生活扶助支給事業	453,240
児童手当支給事業	800,772
妊婦検診委託 8回→14回	26,250
福祉医療給付事業	511,973
放課後児童クラブ支援事業	44,028
柏木児童クラブ建築事業 (新)	21,623
私立保育園運営委託・補助 (民営化3園)	498,246
児童扶養手当支給事業	218,312
予防接種事業	100,940

(単位/千円)

目標 2 自然を大切に、暮らしの豊かさにつなぐ

公共水域水質等調査業務委託	16,000
河川愛護事業補助	7,217
水口城趾周遊道路整備事業	3,200
甲賀広域行政組合負担金 (清掃・清掃建設)	744,774
リサイクルセンター運営業務委託	106,470
資源ゴミ収集運搬業務委託	328,133
廃プラスチック類リサイクル事業 (新)	105,946

(単位/千円)

目標 3 安全で快適な生活の基盤を整え、まちの活力を高める

市道新設改良事業	248,634
橋りょう点検業務委託 (新)	4,000
国道1号平面交差点整備事業	227,640
コミュニティバス運行事業補助	229,900
草津線複線化促進期成同盟観光誘発事業 (新)	3,210
地域公共交通活性化協議会負担金 (新)	8,500
まちづくり交付金事業 (寺庄駅周辺地区)	619,987
土地区画整理事業助成 (寺庄駅周辺)	23,093
土地区画整理事業助成 (新城地区) (新)	6,750
スポーツの森公園 (陸上競技場) 整備事業	91,771
上下水道事業 (拠出金)	214,053
公共下水道整備事業 (拠出金)	1,060,102
農業集落排水事業 (拠出金)	559,199
甲賀広域行政組合負担金 (消防・消防建設)	988,646
自主防災総合補助	7,450
地上デジタル放送受信環境整備事業補助	10,000

(単位/千円)



改築せまる寺庄駅

公の施設の指定管理に係る指定管理者一覧

地域	公の施設の名称	指定管理者の名称
水口	水口東部コミュニティセンター	社団法人甲賀市シルバー人材センター
	水口北部コミュニティセンター	社団法人甲賀市シルバー人材センター
	水口中部コミュニティセンター	社団法人甲賀市シルバー人材センター
	福祉ホール	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会
	貴生川第2児童クラブ(※)	特定非営利活動法人わくわくキッズ
	デイサービスセンター	社会福祉法人湖東会
	碧水荘デイサービスセンター	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会
	老人福祉センター碧水荘	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会
	身体障害者生活支援センター	甲賀地域生活支援センター運営協議会
	休養センターやまびこ館	山上区
	休養センターいみち館	三大寺区
	共同福祉施設	甲賀広域勤労者互助会
	ワークプラザ水口	社団法人甲賀市シルバー人材センター
	勤労福祉会館	碧水観光株式会社
土山	水口城資料館	社団法人甲賀市シルバー人材センター
	旧水口図書館	稚木の会
	老人福祉センターフィランソ土山	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会
	青土農村広場	青土区
	大野農村広場	大野学区
	山中農山村広場	山中区自治会
	青土集落センター	青土区
	上の平農作業休養センター	上の平区
	黒滝農作業休養センター	黒滝区自治会
	リップル"Cha-Cha"	財団法人土山町緑のふるさと振興会
	あけびはら山の子はうす	鈴鹿山麓山内南ふれあいの里
	森林文化ホール(※)	財団法人あいの土山文化体育振興会
	土山自然休養村管理センター	株式会社道の駅あいの土山
	国民宿舎かもしか荘	近江鉄道株式会社
あいの土山都市との交流センター	近江鉄道株式会社	
あいの丘文化公園	財団法人土山町緑のふるさと振興会	
あいの森ふれあい公園・青土ダムエコーパレイ	財団法人土山町緑のふるさと振興会	
ブルーリバーパーク	財団法人土山町緑のふるさと振興会	
やまびこ公園	財団法人土山町緑のふるさと振興会	
あいの土山文化ホール	財団法人あいの土山文化体育振興会	
鈴鹿ホール	財団法人あいの土山文化体育振興会	
土山体育館	財団法人あいの土山文化体育振興会	
土山室内運動場	財団法人あいの土山文化体育振興会	
土山運動場	財団法人あいの土山文化体育振興会	
土山テニスコート	財団法人あいの土山文化体育振興会	
青瀬プール	青瀬プール管理組合	
土山末田小運動場	末田区	
信楽	信楽農事集会所小川会館	小川区
	勅旨高齢者活動・生活支援促進施設 勅旨会館	勅旨区
	雲井地区農村活性化センター	牧区
	農漁家婦人活動促進施設 柞原会館	柞原区
	交流促進センター 谷川会館	長野区自治会
	緑地等管理中央センター	上朝宮区
	多目的集会所 宮町会館	宮町区
	信楽生活改善センター	宮尻区
	生産物直売・食材供給施設 田代高原の郷	田代高原の郷管理組合
	神山高齢者生きがい発祥促進施設 神山ふれあい会館	神山区
	信楽産業展示館	財団法人滋賀県陶芸の森
	ワークプラザ甲南	社団法人甲賀市シルバー人材センター
	甲南青少年研修センター	社団法人甲賀市シルバー人材センター
	中部なかよし児童クラブ(※)	甲南なかよし児童クラブ保護者会
甲賀	甲賀コミュニティセンター	鳥居野区
	デイサービスセンターすこやか荘	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会
	老人福祉センター佐山荘	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会
	甲賀農村環境改善センター	財団法人甲賀創健文化振興事業団
	隠岐農村公園	隠岐区自治会
	油日農村公園	油日区自治会
	神農村公園	神区
	岩室農村公園	岩室区
	高野農村公園	高野区自治会
	大久保農村公園	大久保区
	大原中農村公園	大原中區自治会
	大久保営農センター	大久保区
	甲賀農村婦人の家	神区
	里山かむら交流館	神区
甲賀もちふる里館	小佐治区自治会	
鹿深ふれあい市 四季菜館	鹿深ふれあい市運営組合	
特用林産物展示実習施設	神区	
甲賀木彩館	岩室区	
櫛野簡易休憩所	櫛野区自治会	
油日総合文化センター	上野区自治会	
グリーンドーム(※)	自治会大原中區	
甲賀中央公園	財団法人甲賀創健文化振興事業団	
鹿深夢の森	財団法人甲賀創健文化振興事業団	
甲賀歴史民俗資料館	甲賀地域歴史資料保存会	
甲賀体育館	財団法人甲賀創健文化振興事業団	
甲賀B&G海洋センター	財団法人甲賀創健文化振興事業団	

(※)は新規



議決

- ◆財産の処分
- ・柏木保育園の建物(社会福祉法人ひまわり会に無償譲渡)
- ・水口北保育園の建物(同)
- ・甲南のぞみ保育園の建物(社会福祉法人甲南会に無償譲渡)
- (以上3件、全員賛成にて可決)
- ◆事業費の変更
- ・元気な地域づくり交付金事業(杣中地区)
- (全員賛成にて可決)
- ◆定款の変更

- ◆市町土地開発公社定款の変更
- (全員賛成にて可決)
- ◆指定管理の指定
- ・更新77施設、新規4施設、合計81施設(左に一覧)の指定管理は、すべて全員賛成にて可決
- ◆四万十川水難事故に関する和解及び損害賠償額を定める議決
- (全員賛成にて可決)
- ◆地上デジタル放送に関する

請願書

- ◆する請願書
- (議決不要・みなし採択)
- ◆ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願
- 反対討論||酒巻昌市
- 賛成討論||小松正人
- (賛成少数にて不採択)
- ◆保育制度の改革に関する意見書(提案||山岡光広)
- 反対討論||橋本律子
- 賛成討論||安井直明
- (賛成少数にて否決)
- ◆障害者自立支援法の原

意見書

- ◆則一割負担廃止を求める意見書(提案||山岡光広)
- 反対討論||白坂萬里子
- 賛成討論||小松正人
- (賛成少数にて否決)
- ◆アナログ全面停止・地上デジタル放送完全移行時期の延期を求める意見書(提案||山岡光広)
- 反対討論||肚藤男
- 賛成討論||安井直明
- (賛成少数にて否決)
- ◆政党助成金の廃止を求める意見書(提案||安井直明)
- 反対討論||石川善太郎

- ◆賛成討論||山岡光広
- (賛成少数にて否決)
- ◆消費税の増税を行わないことと、当面食料品の非課税を求める意見書(提案||安井直明)
- 反対討論||村山庄衛
- 賛成討論||小松正人
- (賛成少数にて否決)
- ◆雇用危機を解決する抜本的対策を求める意見書(提案||小松正人)
- 反対討論||土山定信
- 賛成討論||安井直明
- (賛成少数にて不採択)
- ◆地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書

- ◆(提案||肚藤男)
- ◆安心した介護を目指すための介護報酬改定等の改善を求める意見書(提案||中西弥兵衛)
- ◆森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書(提案||河合定郎)
- ◆雇用促進住宅廃止決定を白紙に戻し見直すことを求める意見書(提案||安井直明)
- (以上4件、全員賛成にて可決)

総務常任委員会

市行政推進の中枢を担っている委員会です

審議する総務常任委員会



付託議案

特別会計予算と請願を審査

土地取得事業、信楽高原鐵道助成に関する特別会計など

3月18日に委員会を開催し、執行部に資料の提出と説明を求め、3件の特別会計予算案について慎重審査を行ない、併せて請願について審査を行いました。

甲賀市土地取得事業特別会計

この会計は、土地の先行取得等により、事業を円滑に推進するために設けられたものです。

事業の用に供している土地は一般会計で買い戻すべきであるとの意見に対し、本来買い戻すべき継いだ段階で、既に多くの事業に供されている土地があること、市の財政事情が非常に厳しいことから、買い戻しが進んでいない状況にあるとの答弁がありました。

さらに、財政状況が厳しいのなら、遊休地等を積極的に処分して現金化すべきではとの質疑に対し、「現在、処分可能な土地について、各課への

照会が完了した段階で、面積は約5万㎡ある。年次計画を立てて公募により処分をしていく」との答弁がありました。



遊休地調査

甲賀市鉄道経営安定対策基金特別会計

この会計は、甲賀市鉄道経営安定対策基金条例に基づき、信楽高原鐵道経営の助成を行うために設けられたものです。

経営状況に関する質疑

に対し、「課題は、少子化等で定期券の利用客が減少していることであり、公共交通等との連携計画の中で鉄道とコミバスの乗り継ぎを含め、住民アンケートを取りながら検討する、また、遊ランド信楽やイベント列車、窯元散策やプレトリエンナーレなど観光面での連携も考えている」との答弁がありました。

地上デジタル放送に関する請願

本請願については、3月4日の本会議で可決された意見書案と願意(①環境整備・調査②負担軽減・弱者支援③相談窓口の設置・広報啓発)が重

甲賀市鉄道施設整備基金特別会計

この会計は、甲賀市鉄道施設整備基金条例に基づき、運用益金の積み立てと鉄道の施設整備に充当するためのものです。

21年度予算が半減されているがその理由は、との質疑に対し、21年度の事業内容は枕木のコンクリート化やレール交換、行き違い施設整備調査に伴う電気関係の集中連動間設計であるが、減少の

主な理由は、整備状況に対する国の進捗判断が、他の線区より一定進んだものとされ補助枠が減ったことであるとの答弁がありました。

5ヶ年計画の見直しについてはとの質疑に対し、安全設備については必要などから取り組むこととしている、全ての整備には多額の経費が必要であることから、事業効果を見ながら順次進めていくとの答弁でした。

以上3つの特別会計予算について慎重に審議した結果、各議案とも全員賛成にて可決すべきものと決定しました。

なることから、その「共通点」・「一事不再議」・「議決不要」・「みなし採択」などの議会ルールの検証を含め審査いたしました。

その結果、本請願については205名の請願者

名の願意を受けとめ、趣旨同一として、「議決不要」、「みなし採択」とすべきことと決定しました。



委員会報告

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です

付託議案

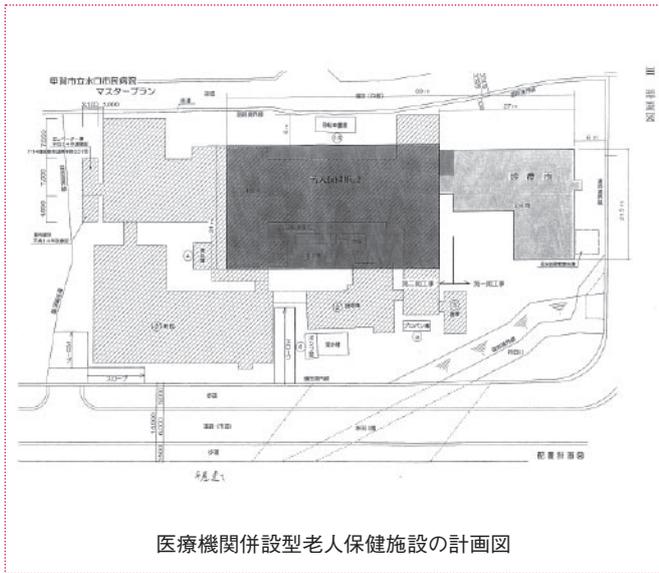
国保・介護など特別会計、病院事業会計

保育園設置に関する条例など審査

民生常任委員会は、18日・19日の両日、付託された、国保・介護・国保診療所・後期高齢者医療・老人保健の各特別会計と病院事業会計の予算案、さらに保育園設置に関する条例制定など、11議案について、執行部からの説明を求め、慎重に審査しました。

国民健康保険の対象者は12、100世帯22、160人。特別徴収から普通に移行したのは約500件。特定検診率は約35%。平成24年度には65%をめざします。一般会計から法定ルール分以外にも繰り入れするものの、国の財政支援がないと一自治体では、制度の維持が非常に困難であることは共通して出されました。後期高齢者医療は、制度発足二年め。約6割が軽減対象であること、保険証が二枚折に変更されることなどが説明されました。介護保険は、第四期介護保険事業計画の説明を受け、介護保険料見直しにあたっては、所得区分を現行の7段階から9段階に、より細分化されたことが報告されました。質疑では施設・在宅介護サービスの充実、介護認定の変更に伴う問題点も指摘されました。以上3件については、賛成多数にて可決すべきものと決定しました。介護報酬3%引き上げに伴う保険料値上げを抑えるための「介護従事者

処遇改善臨時特例基金」条例と、「障害者施策推進協議会」条例は、全員賛成。また、公設保育園の民営化に伴い、保育園に関する2つの新たな条例制定についても、保育料や保育内容についての質疑があったものの全員賛成で可決すべきものと決定しました。



医療機関併設型老人保健施設の計画図

医療機関併設型 老人保健施設建設へ

水口医療センターは、医療機関併設型老人保健施設（24床）を併設した診療所を、平成24年度に開設するための建築設計業務委託費を4200万円計上。2名の常勤医師を引き続き堅持し、1日75人の外来、1日16・5人の入院を見込んでいます。また甲南野川診療所を甲南病院に委託する形

オーダリングシステム

信楽中央病院が導入

病院事業会計は、信楽中央病院では新年度で、オーダリングシステムを導入するための予算8800万円（うち国庫から5000万円）。入院1日38人、外来1日127人を予測。常勤医師確保が問題となつていきます。なお、4月1日から医師の都合により、土日は休診となります（急患は除く）。

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

付託議案

甲賀市民文化ホール条例の制定

文化芸術の普及 振興の拠点

文教常任委員会は3月18日、本委員会に付託された新規条例「甲賀市民文化ホール条例の制定について」を議題として委員会を開催しました。

この条例は、甲賀市あ
いこうか市民ホール、甲
賀市碧水ホール、甲賀市
あいの土山文化ホール及
び甲賀市甲南情報交流セ
ンターの4つの文化ホー
ルが、県立施設からの移
管や旧町からの施設運営
の方法を踏襲してきたた
め、休館日や利用時間に
差異があり、また旧町か
らの3館の使用料にも大
きな格差があったことか
ら、利用時間、休館日を
始めとする利用に関する
諸規定の統一、および使
用料については施設の特
性に応じた均衡化を図る
ため、現行のそれぞれの
館ごとにあつた条例を廃
止して、新たに「甲賀市
民文化ホール条例」を制
定して4つの文化ホール
を統括的に良好な管理と
効率的な運営を行い、文
化芸術振興に寄与しよう
とするものです。

主な質疑について

「あいこうか市民ホー
ルと碧水ホールは同じ場
所にある。今後両施設の
統合を含む効率的運営に
関する議論も出て来るの
ではないか」については、
現況ではキャパの大きい
あいこうか市民ホールと
座席数が少ない碧水ホー
ルでは、利用しやすい面

「あいこうか市民ホー
ルと碧水ホールは同じ場
所にある。今後両施設の
統合を含む効率的運営に
関する議論も出て来るの
ではないか」との指
摘に対し、あいこうか市
民ホール、碧水ホール、
あいの土山文化ホール、
甲南情報交流センターを

「条例制定により市民
にとつての負担は増えた
のか」については、あ
いこうか市民ホールは、短
時間の利用なら下がる
し、他ホールと比較し、
高額な部分で下げたので
利用時間、方法等によつ
て異なるが、市民負担は、
そんなに増えるとは思つ
ていないとのこと。

「甲賀市の文化振興計
画に、市民文化ホールが

めざすところ、果たす役
割を明確にしているか」
については、文化のまち
づくり審議会の答申に基
づいて現在まとめている
所であり、その中で市民
文化ホールのめざす方向
を検討していきたいとい
こと。

この条例は、市民への
周知を図る意味からも施
行は平成21年10月1日か
らとなります。
討論はなく、全会一致
で可決すべきものと決定
しました。



甲賀市あいこうか市民ホール



甲賀市碧水ホール



甲賀市あいの土山文化ホール



甲賀市甲南情報交流センター

委員会報告

産業建設常任委員会

産業・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です

付託議案

企業の水道使用量が心配

特別会計、事業会計、請願審査

産業建設常任委員会で、付託された4特別会計予算と、水道事業会計予算、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願について審査しました。

野洲川基幹水利施設管理事業特別会計

野洲川ダムと水口頭首工に係る、施設管理のための予算です。水口頭首工の事業も21年度で終了です。

公共下水道事業特別会計

市民が安全で快適な定住環境が整った街づくりに向けて、下水道事業を推進するための予算で、予算総額は34億7千200万円となっています。

農業集落排水事業特別会計

市内には24の処理施設が、地域や集落にあります。施設の老朽化も進んでおり、機能強化のための費用も今後かさねていきます。

浄化槽管理事業特別会計

希望ヶ丘地域の下水道施設が、本年1月より甲賀市に移管されたための特別会計で、本年度予算は1億100万円です。



希望ヶ丘浄化槽施設

水道事業会計

市内約3万戸に給水している水道事業。20年4月からの料金改定で、収益的収入は増加したものの、昨今の経済状況から企業の落ち込みは著しく、工場ラインの停止などによりその影響が心配されるようです。

請願審査

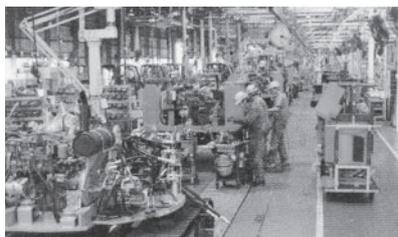
ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願

ミニマム・アクセス米導入以来、米価の値下がりや減反政策に重点が置かれ、農業に明るい希望が持てないので中止すべきであるとの趣旨請願です。審査では、一定の理解はするものの、減反との根拠もなく、国際社会の

100年に一度の経済不況

～今、甲賀市では～

世界同時不況は、甲賀市にも暗い影を落としています。雇用情勢は内閣府の月例経済報告でも、急速に悪化していると言われていますが、甲賀市の企業においても、非正規社員の解雇や工場の生産縮小の傾向が見られます。



工場の生産ライン

3月26日現在、把握している甲賀市内の企業317社（従業員10人以上、水口のみ20人以上）で、昨年

の10月以降、※派遣労働者を解雇した人数は約620人で、正規社員が2社で70人となっています。市内企業の正規社員は11,312人で、嘱託・臨時・パート・派遣社員・構内請負で7,203人となっています。

※派遣労働者

労働者派遣は、臨時的・一時的な労働力供給調整の仕組みです。基本的に、指揮命令が必要な場合は直接雇用、そうでない場合は請負となっています。派遣先が3年を超えて派遣労働者を使い続けたい時は、派遣先の社員として就業させねばなりません。

今後も厳しい雇用情勢が予測されますので、議会としてもその状況の把握をしてまいります。

約束ごとを日本だけが守らなくても許されるのか、などの意見も多く、賛成少数で不採択とすべきものと決定しました。※ミニマム・アクセス米とは、ウルグアイラウンド農業合意によって、これまでほとんど輸入がなかった品目は、最低限の輸入機会を提供することになったもので、日本では米が該当するもので

議会改革

より開かれた議会へ

議会改革特別委員会の報告



「一問一答方式」導入

改革

その1



一般質問で、これまでの一括方式と「一問一答」方式の選択制に。議員の持ち時間は30分。質問と答弁のやり取りが、わかりやすくなりました。

費用弁償は実費交通費に

改革

その2

議員が本会議や委員会などに出席した場合は、これまで一日2600円の費用弁償が支払われていましたが、自宅から市役所までの実費交通費に改めました。

委員会傍聴も改善

改革

その3

議会は公開が原則です。しかし委員会室が狭いことから実際は、委員会での傍聴には制限がありました。3月議会からこの点を改善。委員会傍聴ができるように工夫されました。

委員会では、各党派から意見を出し合いテーマを決めて、できるところから改革・改善することを確認してきました。3月議会から改革されたのは、代表質問における同党派議員の関連質問を認め

る。また一般質問に「一問一答方式」を導入しました。さらに検討課題であった議員の費用弁償については、一日2600円を、「自宅から市役所までの実費交通費」にあらためることを全会一致で確認。

また委員会傍聴についても原則公開が保障されるようになりました。今秋の市議選にむけて、議員定数のあり方については、引き続き検討中で、6月議会には見直しをする予定です。

議員定数見直しは6月議会に

昨年3月議会で発足した議会改革特別委員会は、平成20年度において、12回の会議を開き、より開かれた甲賀市議会にむけて、先進地の事例などにも学びながら、テーマごとに検討をすすめてきました。この3月議会からは、その具体化がはじまっています。

議員定数削減についての説明会

日時：5月15(金) 午後7時30分から

場所：サントピア水口(教養文化室)

参加は自由。お問い合わせは議会事務局(65-0654)まで。

各会派による代表質問 目次

平成 21 年 第 1 回甲賀市議会定例会代表質問

平成 21 年 3 月 6 日

順番	議席番号	氏名	会派名	質問事項
1	17 番	福西 義幸	清風クラブ	1 平成 21 年度予算編成について
				2 支所機能について
				3 行政と住民のパイプ役「集落支援員」の設置について
				4 水口医療センター整備計画の進捗状況は
				5 テロ集団 オウム真理教（アーレフ）対策について
				6 大戸川ダム計画中止が及ぼす甲賀市への影響は
				7 「農業基本条例」や「食育条例」の制定で農業振興と食育の推進を
				8 新たな「食料・農業・農村基本計画」見直し議論への市の対応は
				9 小中学校の適正化について
				10 基本法改正による市の役割は
				11 行政の仕組み「現場」で学ぶ子ども議会の開催について
2	13 番	加藤 和孝	公明党 甲賀市議団	1 平成 21 年度予算案に関連して
				2 市長の施政方針に関連して
				3 教育課題について
3	22 番	友廣 勇	正政会	1 施政方針及び 21 年度予算について
				2 学校再編について
4	24 番	今村 和夫	甲政クラブ	1 平成 21 年度一般会計予算について
				2 職員適正化計画について
				3 人材育成について
5	11 番	小松 正人	日本共産党 甲賀市議団	1 雇用と営業・暮らしを守る緊急対策について問う
				2 新年度予算は、生活密着型のマンパワー事業で活路を
				3 農地の荒廃と野生獣害対策について

夢をこえがき いまが挑戦のとき

清風クラブ



福西 義幸

問 21 年度予算編成のアップル点、代表施策及び今後視野に入れるべき事業併せて財政健全化へ向けた視点は。

市長 市民ニーズによる施策実現のために、スクラップ&ビルドの促進を図り「稼ぐ・削る・守る」の推進による「集中改革プラン」の実践を行うことである。

市民生活に直結した窓口、支所の必要性を質したのに対し、土山、甲賀、甲南、信楽の支所長各位が熱き答弁をされ、地域住民の方々からの「ありがとう」の言葉を励みに、行政サービスの向上に努めると決意を示められた。過疎地における行政と住民のパイプ役「集落支援員」の設置は。

企画部長 行政ニーズと照らし合わせながら、今後集落支援員の設置など具体的な方法等について研究をしていく。

問 一次医療機関の役割をいかに果たしていくか。

病院事務部長 水口医療センターの外來診療機能を維持しながら、小規模老人保健施設へ移行し、療養が必要な高齢者の医療確保を図る考えである。24 年開院をめざす。

問 「安全で快適な定住環境が整ったまちづくり」オウム真理教対策は。



オウム追放シュプレヒコール

市民環境部長 公安調査庁等関係機関と連携をはかり、さらなる対策の強化を全国の関係自治体とも共同して進めていく。

そのほか以下の 6 点を質問した。
・ 大戸川ダムに関わる、県道、旧信楽町での下水道事業は進められるか。
・ 農業基本・食育条例は関係者の責務を明らかにして、施策を推進することが可となると考えるが、基本計画の論点と、地域による生産調整の適地適作提言にどう応えるか。
・ 小・中の適正化、現下の委員会の考えを問う。
・ 法改正による学校教育社会教育の課題は何か。
・ 市の宝、市の将来を担う子どもによるわたしたちのまちづくり「子ども議会」の開催を問う。

市民生活に直結した窓口、支所の必要性を質したのに対し、土山、甲賀、甲南、信楽の支所長各位が熱き答弁をされ、地域住民の方々からの「ありがとう」の言葉を励みに、行政サービスの向上に努めると決意を示められた。過疎地における行政と住民のパイプ役「集落支援員」の設置は。

各党派による 代表質問

市長の施政方針に関連して問う

公明党



加藤 和孝

問 本市における緊急経済対策について伺う。

市長 定額給付金は、4月上旬に申請書を送付し、4月中旬に振込みを開始したい。子育て応援手当は、定額給付金と同時期に支給できるようにする。雇用対策については、早期に雇用の創出を図り、ハローワークと連携して取り組む。緊急保証制度の認定業務について、一日で決済が済ませるよう心がけている。

問 外国人市民との共生を目指すうえでの施策を伺う。

市長 生活環境課に通訳を置き様々な相談に対応している。毎水曜日にサントピア水口でポルトガル語通訳を置き、雇用保険や職業相談を行っている。国際交流協会に委

平成21年度予算編成方針について

正政会



友廣 勇

問 当初予算は320億円の計画から306億円に下降修正した。守山市は前年度比プラス2.5%の積極型予算を実現させたが、見解と当市の予算編成について聞きたい。

市長 守山市の法人税は他市町と同様に落ち込みが予測されるが、人口増で個人市民税と商業施設や大企業の進出で固定資産税の増加がある。加えてここ数年の緊縮型予算で19年度末の財政調整基金が21億6千万円あるため可能となった。

合併後、甲賀市の一体化醸成のため積極予算を編成してきた。現状からすると財政健全化への取り組みが最重要課題である。**問** 企業は各自の戦略で事業拡大もするし、縮小もする。企業撤退や倒産

ともなれば、目も当てられない。身の丈の誘致を図るべきだが。

市長 内陸工業地域として幅広い業種の企業誘致をした。景気変動に左右されない産業構造を呈している。合併後も優良企業を誘致できた結果、固定資産税や法人市民税の確保や雇用の確保・拡大が図れた。

問 地域経済は火の車状

陶業や薬業振興の積極的な支援でも県の経済振興特区制度の活用や「くすり学習館」からの情報発信や施設の活用により地場産業の育成や振興を図っている。



市長 コミュニティバスの運行に加え、乗客の需要に応じて運行するデマンド運行方式や、買い物・通院等の日常生活を支援するためのデマンド

問 デマンド交通システムを採用することも必要では。

市長 地域団体商標として「信楽焼」が登録されている。杉谷なすび、水口かんぴょう等も「甲賀の伝統野菜」として商標登録すべく準備をされている。いちじく、メロン、いちご等も栽培されていることから、これらを甲賀ブランドとして

広く全国に周知すべく、地域ブランドを確立・推進するための組織づくりを進めていきたい。



24社が進出したさつきが丘工業団地

代表質問

平成21年度予算について

甲政クラブ



今村和夫

深刻な経済危機打開を

日本共産党



小松正人

問 予算編成における市長の思いは。

市長 平成21年度予算は、徹底した経費削減と事務事業の見直しを守る一方、市民の生活を守るため、妊婦健診の実施回数、公立甲賀病院の移転新築に向けての条件整備、子ども達が、本に親しむきっかけづくりとしてのブックスタート事業等、私のまちづくりに対する思いである市民に密着した効果のある事業の重点化を図った。

問 財政調整基金の確保に対する方策は。

市長 過年度分も含め税や各種使用料の徴収率のアップにあると考える。また歳出においては、人件費の削減、経常経費の更なる削減をはじめとして行政改革を実践するこ

とにより総合的に今後必要とされる基金の確保に努める。



市内の遊休土地 (手前)

問 財源確保のための「稼ぐ」の方策は。

市長 中長期的には企業誘致による新たな税財源の確保、短期的には、広告料収入、遊休土地の処分、貸付を進める一方で、市民の公平性の観点からも税、料金等滞納の徴収は重要であるため、特別徴収班の更なる充実など全組織をあげて取り組む

問 本市の財政の現状を、市民にどのように伝えるか。

市長 市の財政状況については、毎年、予算決算の状況と年2回中間の執行状況について、広報紙やホームページ等を通じて情報提供している。掲載方法についても、市民により分かりやすくするため、グラフを多く入れ、歳入歳出の項目を一般家庭における給料やローン返済などに置きかえるなど工夫している。平成21年度では、財政状況を今まで以上に理解してもらうため企業会計的考え方を取り入れた、公会計財務4表の整備を図る。情報提供の手法として「ぐらっとーク」の機会や「出前講座」の開設により、よりきめ細かな情報提供を行い市としての説明責任を果たす。

問 (景気悪化の中) 緊急雇用対策を急げ。

市長 「生活・経済・雇用対策会議」で対処する。

問 今、経済危機、景気悪化を受けた大企業と関連会社が労働者の派遣切りを強行し、市内企業にもおよんでいる。貧困労働者の首を切る冷酷非道なやり方は人権、人道に照らして絶対に許されない。市長の認識を問う。

市長 募集可能な35戸の空き室があるが修繕費が高つく。企業の社員寮の空き室を20戸要請している。

問 派遣切り失職者の住宅確保が重要だ。市営住宅5戸の開放では少ない。空き室は何戸くらい提供できるか。

市長 募集可能な35戸の空き室があるが修繕費が高つく。企業の社員寮の空き室を20戸要請している。

問 市道の老朽化が著しく、歩道や法面の草木整備が不徹底である。緊急雇用創出事業と組み合わせ、道路整備プロジェクトが編成できないか。

市長 緊急雇用創出特別推進事業交付金を活用し、

問 農地の荒廃は深刻。耕作放棄農地の対策は。

市長 調査で放棄農地は620ha。対策協議会を立ちあげ再生利用を図る。そのほか野生獣害対策特にアライグマの対策を質問した。



ハローワーク水口

市長 非正規労働者の雇

内企業にもおよび、懸念している。労働者の人権を守る立場から市長名で「緊急雇用に対する要請書」を各企業に送り、雇用維持に向け企業訪問の機会に要請していく。

問 派遣切り失職者の住宅確保が重要だ。市営住宅5戸の開放では少ない。空き室は何戸くらい提供できるか。

市長 募集可能な35戸の空き室があるが修繕費が高つく。企業の社員寮の空き室を20戸要請している。

問 市道の老朽化が著しく、歩道や法面の草木整備が不徹底である。緊急雇用創出事業と組み合わせ、道路整備プロジェクトが編成できないか。

市長 緊急雇用創出特別推進事業交付金を活用し、

問 農地の荒廃は深刻。耕作放棄農地の対策は。

市長 調査で放棄農地は620ha。対策協議会を立ちあげ再生利用を図る。そのほか野生獣害対策特にアライグマの対策を質問した。

問 市道の老朽化が著しく、歩道や法面の草木整備が不徹底である。緊急雇用創出事業と組み合わせ、道路整備プロジェクトが編成できないか。

市長 緊急雇用創出特別推進事業交付金を活用し、

問 農地の荒廃は深刻。耕作放棄農地の対策は。

市長 調査で放棄農地は620ha。対策協議会を立ちあげ再生利用を図る。そのほか野生獣害対策特にアライグマの対策を質問した。



平成21年第1回甲賀市議会定例会一般質問

平成21年3月9日・10日

順番	議席番号	質問方法	氏名	質問事項
1	7番	一問一答	鶴飼 勲	1 失職世帯に対する緊急支援について
				2 市立学校の米飯給食について
				3 成年後見制度の現状と課題について
2	14番	一問一答	葛原 章年	1 急激な景気悪化による甲賀市の現状と対策について
				2 『国際陶芸産業都市』特区の取組みについて
				3 甲南I.C供用開始と地域活性化について
3	25番	一括	中島 茂	1 H21年度予算について
4	23番	一問一答	白坂萬里子	1 地上デジタル放送への完全移行に向けた諸課題について
				2 市民参加の清掃美化運動について
				3 防ごう「女性のガン」対策
5	21番	一問一答	安井 直明	1 県新年度予算案が甲賀市にもたらす影響について
				2 大戸川ダム建設は止めるべきだと考えるが
				3 長期雇用となっている臨時的任用職員の賃金を上げよ
				4 大野学区の新年度予算に関する要望書の実現を
				5 市道等にかかる道路建設、道路パトロールと補修と県への要望について
6	1番	一問一答	山岡 光広	1 介護保険制度について
				2 後期高齢者医療制度について
				3 保育問題について
				4 市内在住の外国人について
				5 教員の免許更新、臨時講師について
7	8番	一問一答	土山 定信	1 廃プラスチック分別回収について
				2 派遣について市はどの程度理解しているのか
8	4番	一括	辻 重治	1 「家庭の日」について
				2 希少種のすむ湿原保護のとりくみについて
9	2番	一括	林 勝彦	1 スポーツ振興策と課題について
10	28番	一問一答	橋本 律子	1 生活幹線道路の安全確保について
				2 市民とまちの活性化について
11	26番	一問一答	中西弥兵衛	1 合併後における行政組織の改編と職員配置について問う
				2 広域連携による本市の戦略的な観光行政のあり方について問う
12	16番	一問一答	野田 卓治	1 地域の活性化を問う
				2 甲賀市総合計画を基本とした各推進計画実施の進捗状況は
13	27番	一問一答	岩田 孝之	1 教育問題について
14	5番	一問一答	木村 泰男	1 放課後子どもプランについて
				2 学童保育の今後について

市政を問う



今議会から「一問一答方式」

14人の議員が登壇 一般質問

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の様態をご覧くださいだけです。

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

議員 勲 鴉飼

Q 教育関連緊急支援策は

A 今後の対応を研究検討する

問 日々厳しさを増す昨今の経済・雇用情勢を踏まえ、失職世帯に対する就学援助について、現有制度に加え特定扶養親族等に就学を支援するため

の無利子貸付・利子補給等の緊急追加支援策は。

市長 甲賀市では、就学援助制度の対象となる基準を近隣の他市よりも大幅に条件を緩和して支援を行っている。

昨今の状況から、要保護及び必要保護家庭ならびに、特定扶養親族をかかえ日々の生活に困窮した世帯に対して、何らかの処置を講ずる必要があるとの認識をしている。

今後の就学援助のあり方については、現有制度の活用も含めて十分に研究し検討する。

問 米飯給食時、日本の食文化の原点でもある陶

器茶碗の導入は。

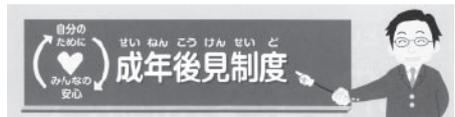
教育長 米飯給食で信楽焼の食器を用いて暖かいご飯を食べさせることは理に適ったことである。

実施可能な学校からモデル的に試行するなど、陶器茶碗の導入を視野に入れ検討する。

問 成年後見制度の現状と課題は。

健康福祉部長 現在、成年後見制度についての体制が構築できていない。

今後は、市民からの相談や制度利用にかかわる支援を行うために制度を一体的に担う機能を有した施設、機関を検討する。



法務省民事局リーフレットより

Q 「国際陶芸産業都市」特区の進捗は

A 積極的な取組みを行っている

葛原章年 議員

急激な景気悪化による市内各方面の現状と対策

「国際陶芸産業都市」特区事業の取組み、甲南IC供用開始にともない市全域での観光振興策の3項目について質問した。そのなかで、経済振興特区についての質問と答弁を紹介する。

問 信楽焼産地の現状と特区事業の見通しについての見解はどうか。

市長 産地を取り巻く環境は非常に厳しい状況である。特区事業の使命である産地振興をめざした取組みを行政と業界が連

携し、お互いに汗をかきながら前向きに展開している。トリエンナーレ事業については、実行委員会を設立し具体的な準備を進めている。事業を通じて、『歩いて楽しい観光のまちづくり』や『ほんものに出会えるまち』の実現に向け、市民や地域と一体となり信楽焼の振興を目指していく。

問 トリエンナーレ事業の概要とその課題点は。



観光客で賑わう窯元散策路

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

中島 茂議員

Q 21年度予算編成について

A 地方自治の原理原則は「補完性の原理」

問 ①予算編成の課題②市民が行政との連帯感を醸成し信頼関係を築く協働の精神とは③「入るを量る」ために多くの無償のリーダーを求める。

市長 当市の財政規模は標準財政規模に市税等の収入額の残りと、国・県補助金などの特定財源の一定収入額を加算した、300億円程度が理想。補助費の歳出に占める割合が15.7%で同等の他市と比較して高い。補助団体で役割を終えた、あるいは機能を果たしていない団体を見直す。合



予算特別委員会

併による同種施設の見直し、また、インフラ整備も効率が悪く「甲賀市行政改革大綱」を基本とした「定員適正化計画」をはじめとする「集中改革プラン」を積極的に推進する。協働のまちづくりの基本姿勢は、市民と行政の信頼関係を築き個性豊かで活力ある地域社会を皆様とともに実現。

地方自治の原理や原則は「補完性の原理」であり、「個人で出来る事は個人で」「個人で出来ないことは家庭・家族」「家庭で出来ない時は、地域やNPOが助ける」「それでも解決できないときは、初めて行政が解決する」。「自助」「共助」「公助」で問題解決する。

白坂萬里子議員

Q 地デジ放送移行への説明会は

A きめ細かな説明会をもつ

問 地デジ放送移行への諸課題について、高齢者世帯・障害者等への説明会の取組みは。

企画部長 小さな枠を基本にきめ細かな説明会をもつ。

問 生活保護世帯には簡易チューナーの無償配布を早く知らせるべき。

企画部長 対象者が不安をもたれないようタイミングを見計り周知していく。

問 悪質商法への対策と地域住民への周知徹底策は。

企画部長 区単位で説明会を開催し、情報提供や注意喚起をしていく。

問 市営住宅の地デジ用アンテナは。

企画部長 共同アンテナ設置の団地では市が集合住宅対応として整備。それ以外は各戸負担を基本

問 学校や公民館など公共施設のデジタル化計画は。

財務部長 94施設、862台。国の補助を最大限活用した中で整備していく。

問 アナログテレビのりサイクル対策は。

企画部長 約3万3千台の排出が見込まれ、家電リサイクル法により販売店に引き取ってもらう。

問 乳ガン・子宮頸ガン検診の受診率と受診率アップの取り組みは。

健康福祉部長 市で実施した受診者率は共に20%程度で、50%を目標にあらゆる機会を捉え広報・啓発の活動をしていく。

乳がん検診のバス

安井直明議員

Q 臨時保育士の賃金上げを

A 4月から引き上げる

問 新年度県予算が甲賀市にもたらす影響はどうか。

市長 補助金が「自治振興交付金」に変わり、25事業で815万9000円の影響となる。

問 コミュニティバスの中学校定期券月額4千円が、5千500円となるが値上げはやめるべきだ。

市長 中学生の通学と通勤の改定で負担を願いたい。

問 大戸川ダム建設は止めるべきだ。県道改修や下水道工事など担保されれば必要ない。



危険な若王子前交差点

市長 県道整備や河川改修などからも必要だ。

問 長期雇用となつて臨時保育士の賃金を引き上げよ。

市長 正規職員と比べ処遇面や任用において不安定な勤務環境と認識している。4月から現行16万3800円を16万5000円に。クラス担任は17万1000円を17万1500円に引き上げる。

問 大野学区の要望を実現せよ。

建設部長 若王子交差点は、現地説明会の確認を事業計画に反映すること。日野徳原の視距改良は21年度早期着工を要望している。



一般質問

山岡光広 議員

Q 女性が深夜勤の場合でも保育を

A 保育に欠ける状態に該当する

介護保険制度の充実、後期高齢者医療制度の廃止、保育制度の充実、市内在住の外国人への対応、教員の免許更新と臨時講師の5項目について、「一問一答」方式で、実態をふまえ要求実現と市政のあり方を指摘した。主な質問と答弁は次の通り。

問 4月から介護保険認定基準が変更され「軽度」になれば必要な介護が受けられないのでは。
健康福祉部長 心配の声はある。実態に見合った判定をしたい。

問 保育園の入園待ちは。市長公約

38名の入園待ちがある。休日保育は早期実施に向けて努力していきたい。

の休日保育の検討は。女性が深夜・夜勤している場合も「保育希望」に応えるべき。市長 市内で

市内在住外国人	
◆ブラジル	1717人
◆中国	481人
◆ペルー	350人
◆韓国・朝鮮	328人
◆フィリピン	197人
◆インドネシア	47人
◆アメリカ	14人
◆タイ	11人
◆その他	52人

土山定信 議員

Q 廃プラ類分別回収の効果は

A 負担金減と焼却炉の延命

問 廃プラ回収に1億円予算計上されているが、その効果は。

却代金80万円程度を予定している。

市民環境部長 分別で燃えるごみが減り、市の焼却炉の負担金が1千万円程度減る。また約15年程度炉の延命が見込まれる。二酸化炭素の排出削減は、甲賀市だけで東京ドーム約一杯分と見込んでいる。金額的には小額ではあるが廃プラを燃料として売

問 その80万は、市民の分別努力結果として、子ども達に環境問題の本購入等市民にわかりやすい使い方が出来ないのか。
市民環境部長 収集費用に使う予定だが、検討することも可能である。



廃プラ専用袋

問 労働者派遣について市長は、労働問題で助けたいと考えている甲賀市民の範囲をどのように考えているのか。
市長 労働者の方で住居さえ無くなった方については、市民の範囲を大きく考え、甲賀市に勤めておられる方も対象としたが、基本的には住所が甲賀市にある方が市民であると認識している。

辻重治 議員

Q 家庭の日のとりくみについて

A 毎日が家庭の日だと思おう

問 第3日曜日は、家庭の日とされていたが、この取り組みについてどうか。また、この日における市の施設開放は。

市では、「親子ふれあい教室」や「親子プレイステーション事業」を開催し、21年度から「ブックスタート」を実施する。施設の開放は、難しい状況である。

教育長 子どもたちの健全な成長は、親の願いであるとともに、社会全体の願いである。

問 希少種が生息する湿原の保護について。
市民環境部長 指定地域や、候補地となった場合地元の意向と体制の確認調査し、将来にむけた良好な自然環境保全する。

問 甲賀市でまだ社会保険に未加入の方がおられると思うが。
産業経済部長 労働基準局の管轄であり市としては把握していないが、相談には、親切に対応している。

3世代の世帯も多く、家族のふれあいが、比較的しっかりしている地域の人々と子どもと一緒に楽しむ、さまざまな体験活動やスポーツ活動が盛んであり、「毎日が家庭の日」とも思う。



三世代のふれあい

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

林 勝彦 議員

Q 体育館照明の管理運営は

A 定期的に報告を求め適宜対応

問 学校施設「体育館」の管理運営で点検周期、責任者、予算措置はどうか。

教委事務局長 学校施設の管理運営は、基本的には当該校で実施、学校施設開放は生涯スポーツ課が所管している。ご指摘の体育館の照明は定期的に学校から報告を求めるとともに利用時に記入頂く「使用日誌」を確認する事により、電球の交換や修繕等を適宜対応している。予算は前年度の実績を勘案し、計上している。

問 市内各施設の使用料の見直し、統一化はどうか。

教委事務局長 「公共施設使用料等検討部会」で検討しているが他の部局が所管するスポーツ施設や類似施設等との整合を図る必要がある、今後も継続して検討を行う。

問 新体制による体育指導委員の活動状況は。

教委事務局長 これまで以上に広い視野に立ち、地域に密着した活動を展開するため市内全域から寄せられるスポーツ行事への協力要請に応じ、生

活な環境で楽しむスポーツ



快適な環境で楽しむスポーツ

Q 生活幹線道路の安全確保を

A 関係機関と調整が必要

橋本律子 議員

問 甲南IC開通に伴う交通量の変化と、一般道への影響と課題について。

建設部長 一日に約3900台がICを利用見込み周辺道を7500台通行予想。周辺工業団地への業務用車輛も増加するため、通学やラッシュ時への交通規制などを視野に入れ、安全対策について関係機関との調整が必要と考える。

問 改良交差点への信号設置、歩道整備等の対策は。

建設部長 いずれも県に早期の対応を要望し、路

肩部分の着色舗装など安全対策を講じるよう求める。

問 主要な県道（水口甲南線・小佐治甲南線）等の改良促進を早急に。

建設部長 沿線住民の安全確保が図れるよう強く要望する。

問 ボランティア活動拠点の見直しを図ることが求められているが、今後の取り組みを伺う。

企画部長 ニーズに合った公共施設の利用開放や市民活動のネットワークによる情報の共有をはじめ、需給調整機能を備えた拠点について検討していきたい。



ボランティア・NPOの活動

このほか住民提案型活動支援システムの検討を提案した。

Q 国際競争力の高い観光地の形成を

A 外国人観光客の受け入れも検討する

中西弥兵衛 議員

問 観光産業は、今後、企業誘致に代わる地方経済の活性化の目玉として期待されているが現在策定中の本市観光振興計画の基本的な考え方は。

市長 本市総合計画に基づくほか、国や県の振興策もふまへ「観光産業による地域活性化」を主眼に、観光協会や各種団体と協働で具体策を練り上げていた。

問 3月末で1773市町が誕生する中、積極的な誘致キャンペーンを展開すべきと考えるが。

市長 びわこビジターズビューローと連携しながら、大阪、京都、名古屋、横浜等でのキャンペーンを活用して本市

の魅力を発信している。平成22年には草津線全線開通120周年、全線電化30周年の節目を迎えるため鉄道を利用した観光モデルコースの設定も予定している。

問 NHKのど自慢大会の開催やロケ地の売り込みや「ご当地ソング」によるPRも必要ではないか。

市長 当市を全国にPRするイベントやロケ地の誘致だけでなく経済効果の伴うPR戦略について検討したいと考えている。





一般質問

Q 地域の活性化を問う

野田卓治 議員

A 商工会の合併が第一

問 雇用対策の取り組みについて、職業訓練、研修、相談窓口の設置を。
市長 ハローワーク等から就職相談の窓口や職業訓練の会場として要請があれば、支所の活用を検討する。
問 甲賀市の各商店が、地域商品券事業など出来る状況にない今、統一した行動が取れる指導、支援をするべきであるが。
市長 商工会の合併が第一と考える。市商工会の一本化を支援する。
問 甲賀市総合計画の現状と考え方について。

企画部長 新規事業を対象に考えた進捗度は、約7割強となっている。緊急性の高い事業を優先的に活用している。考え方は、市民ニーズや社会情勢の変化を把握し、行政評価等との整合性を図り、必要に応じ見直しを実施していく。

問 ①健康こうか21計画の現状と進捗状況について。②甲賀市健康福祉推進計画の進捗状況は。
健康福祉部長 ①見直しの中で「がん」、「循環器疾患」の2項目を追加した。新年度は健康カレンダーに「私の家庭健康スケジュール」を入れ、健康の意識を高める。②ほぼ計画通り進んでいる。公民館の活用等を検討。



市内商店街

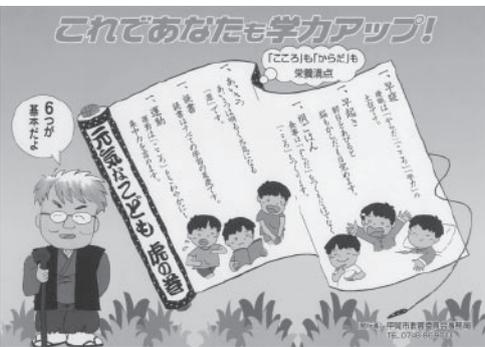
岩田孝之 議員

Q 元気な子ども虎の巻の目標は

A 家庭・学校・地域が取り組む

問 「早寝、早起き、朝ご飯、あいさつ、読書、運動」でこころも体も栄養満点、これであなただも学力アップの6つが、元気な子どもを育む基本だとするこの運動は、甲賀の子ども達を元気にし、学力アップを図る上で大変素晴らしい提案である。その成果に大きな期待をするが、具体的な目標設定や数値設定はあるのか。
教育長 子ども達が健康やかに成長していくためには、適切な運動と調和の取れた食事、そして十分な睡眠がなによりも大切。必要不可欠な生活習慣が大きく乱れ、体力や気力、学習意欲の低下の原因となっている。
問 「早寝、早起き、朝ご飯、あいさつ、読書、運動」でこころも体も栄養満点、これであなただも学力アップの6つが、元気な子どもを育む基本だとするこの運動は、甲賀の子ども達を元気にし、学力アップを図る上で大変素晴らしい提案である。その成果に大きな期待をするが、具体的な目標設定や数値設定はあるのか。
教育長 子ども達が健康やかに成長していくためには、適切な運動と調和の取れた食事、そして十分な睡眠がなによりも大切。必要不可欠な生活習慣が大きく乱れ、体力や気力、学習意欲の低下の原因となっている。

教育委員会で



Q 放課後子どもプランは

木村泰男 議員

A 外遊びの仕掛けと指導者の育成に努める

「放課後子どもプラン」 は、小学生の放課後を安心安全な学校等で地域の協力を得て取り組む文部科学省の「放課後子ども教室」と、従来から行われてきた厚生労働省の「放課後児童クラブ」を合わせ実施するもの。平成19年度より3年計画で全国の各小学校区で取り組むとされたこのことについて質問した。
問 甲賀市での放課後子ども教室の取り組みは。
教育長 運営委員会を設置し検討している。現在は、公民館で休日等に講

座を開催している。今後一層充実させる。
問 子ども達は放課後等をどう過ごしているか。
教育長 甲賀の子ども達は様々な行事や活動に参加し体験を重ねている。
問 かつて地域での外遊びは社会の基本を学ぶ場であった。そんな場を学校の放課後に設定するのがこのプランではないのか。

教育長 家庭、学校、地域と行政が連携を図り、安全で安心な場所を確保し、外遊びのできる様々な仕掛けづくりと指導者の育成に努めていく必要があると考えている。
 このほか「放課後児童クラブ」について質問した。



放課後児童クラブで遊ぶ子ども達

特別委員会・組合議会の動き

地域情報
対策
特別委員会

中間報告と提言を提出

すべての住民が格差なしに行政情報を手続きの環境を早期に整備することが必要ですが、現在の財政状況から独自に情報通信基盤整備に取り組むことは難しく、民間企業との連携が必要となります。

甲賀市の方針は、市内事業者による事業化を基本としながらも、現在に



議長に「提言」を手渡す特別委員会の正副委員長

とすべく、現時点で中間報告として提出すると同時に、早期の事業推進を図るため、「地域情報基盤整備に関する提言」を市長に提出しました。

主な内容は、大手事業者との事業化に向けて早急に協議することを求めることを提案するものです。

交通対策
特別委員会

コミュニティバス 運賃(定期)改定

それぞれの地域により愛称で親しまれているコミュニティバスの定期券割引率の変更になりま

生にとっては欠かせない交通手段です。運行経路やダイヤの改定を含めて利用しやすい、利便性の高い、しかも費用対効果の見込めるコミュニティバスになるよう十分に検討していただくことを強く申し入れました。

それまでの活動で中間報告として提出すると同時に、早期の事業推進を図るため、「地域情報基盤整備に関する提言」を市長に提出しました。

主な内容は、大手事業者との事業化に向けて早急に協議することを求めることを提案するものです。



コミュニティバス

新名神
地域振興
特別委員会

甲南インターを生かそう

京阪神と中京を結ぶ新名神高速道路。この大動脈への出入口として、市内3番目のインターチェンジが3月20日オープンしました。

「地域活性化インターチェンジ制度」を活用して滋賀県が建設したもので、地域間の交流がより早く、より活発となり、観光や雇用が促進され、地域の活性化が期待されています。

委員会では、開通した甲南インターチェンジについて、3月26日、現地調査を実施しました。開通直後では、約3800台以上の車が出入しています。また、甲賀土山ICは、4500台、信



開通した甲南インターの前で

楽ICは、5090台（いずれも1日あたり2月平均、ETC車のみ）。道路とインターというハード面の整備は、完了です。今後は、道路とまちづくり、についての対応が急務です。文化や歴史、伝統を大切にしつつ新しい感覚と発想によって、夢はふくらみます。活性化に向け、具体策にも調査をすすめます。

組合議会の動き

甲賀組合
公立病院
議会

平成21年度公立甲賀病院事業
会計予算が議決されました

収益的収入及び支出の
予定額

〔収入〕 86億207万3千円

〔支出〕 88億3921万3千円

主な事業

●デジタルX線TVシス

テム導入

●電子カルテル導入にむ

け放射線画像のフィル

ムレス

●生理検査システム導入

で検査効率の向上

●公立甲賀病院移転新築

整備事業

平成20年度甲賀看護専門
門学校卒業式が3月10日
におこなわれました。



甲賀看護専門学校卒業式

卒業生進路状況

甲賀市、湖南市へ就職

17名（うち公立甲賀病

院へは13名）

滋賀県内他市町村 7名

県外 3名 合計27名

なお21年度の入学者は
39名です。

甲賀、湖南市 14名

県内（その他） 13名

県外 12名

（文責・村山庄衛）

甲賀広域
行政組合
議会

水処理設備整備計画(案)

衛生センターし尿処理

施設は、昭和39年度から

5期にわたる増設や改造

を経て、3年前に汚泥を

肥料化できる受入設備等

が更新されました。仮施

設で処理を行いながら老

朽化によって耐震不安の

ある水処理施設を平成24

年度全面稼働をめざして

工事が進められます。

◆平成21年度甲賀広域行

政組合一般会計予算

歳入歳出総額33億134

2万円（前年度比2億

1512万円の減）

全員賛成にて可決

〔歳入〕主なもの

・清掃関係建設負担金5

億885万円

・財産売却収入1047

万円

（衛生センター敷地整備

事業に伴うもの）

〔歳出〕主なもの

・し尿処理施設費に関する

生活環境影響調査93

5万円

・消防施設費 高規格救急

自動車一台2877万円

◆平成20年度甲賀広域

行政組合一般会計補正予

算認定（第3号）の専

決処分を承認。202万

円を減額し、総額は

35億3369万円。

（歳出補正で、非常食や

防護服等、新型インフル

エンザ対策資機材整備）

◆甲賀広域行政組合負担

金分賦割合に関する条例

の一部を改正する条例

全員賛成にて可決

（清掃関係経費のうち施

設整備担当参与経費は平

等割100%とするもの）

一般質問

甲南消防署の新築計画

についての現状と現消防

署の耐震診断の状況。

（文責・橋本律子）

議会新会派構成

甲賀市議会（定数30）の新会派構成により、
新しい会派構成は次のようになりました。

会派名	所属議員
清風クラブ(16名)	◎岩田孝之 服部治男 山川宏治 橋本律子 中西弥兵衛 村山庄衛 河合定郎 伴資男 福西義幸 野田卓治 辻金雄 藤井克宏 酒巻昌市 土山定信 鶴飼勲 舩藤男
公明党甲賀市議団(3名)	◎加藤和孝 白坂萬里子 松本昌市
正政会(3名)	◎石川善太郎 友廣勇 林勝彦
日本共産党甲賀市議員団(3名)	◎安井直明 小松正人 山岡光広
甲政クラブ(4名)	◎今村和夫 中島茂 葛原章年 辻重治
無所属(1名)	木村泰男

くろぎこうか



Vol.14

甲賀の



シリーズ⑥



●鮎河菜のペペロンチーノ

— 材料(4人分) —

- 鮎河菜…………… 100g
- パスタ…………… 400g
- ニンニク(みじん切り) …… 大さじ 1
- 鷹の爪(トウガラシ) …… 2本
- ベーコン…………… 5枚
- オリーブオイル…………… 1/4 カップ
- 塩・コショウ…………… 少々



●鮎河菜のオープントースト (2種)

— 材料(4人分) —

- 鮎河菜…………… 100g
- フランスパン…………… 1本
- バター…………… 20g
- 明太子…………… 1はら
- マヨネーズ…………… 適量
- ワサビ…………… 適量
- ピザ用チーズ…………… 適量

鮎河菜

土山町鮎河地区でのみ栽培されているアブラナ科の変種の野菜です。この地域でしか栽培できな



持っています。栽培の由来は大正時代からと言われています。

いと不思議な特性を、塩漬けされています。人

もつと古く平安時代からとも言われています。春3月中旬〜4月中旬位が収穫期です。菜の花と同じように茎葉部分を食用としますが、特に茎が甘く、生で食べてもエグ味がないのが特徴です。主に油炒めやお浸しが美味しいですが、写真のようなレシピもあります。地域の方の多くは、

主な出荷先は、県内生協、JAこうかの直売所、道の駅などで「カラシあえにする」と絶品」とリピーターも増えています。

気テレビみのもんださんの「おもいつきりテレビ」でも紹介されました。鮎河地域の多くの農家で作付されていますが、最近鮎河菜の作付面積が増加しているそうです。(地元では、特産野菜の産地として確立したことのエールを送っておられます。)

編集後記

▶さわやかな新緑の季節となりました。一年間を通じて、いちばん活力のみなぎる時期です。新名神高速道路甲南インターチェンジが開通して、まもなく2ヶ月が経過しようとしています。

全国的高速道路は、通行料金が値下げされ、土・日・祝祭日は、どこまで行っても1,000円(限定車輛のみ)という遠出にはありがたい設定です。また、定額給付金をすでに受取られた方もおられると思います。ぜひ、この機会にお出掛け下さい。そして、新しい息吹と風を受け入れてみるのはどうでしょう。(広報特別委員 辻 重治)



カメラの



2010年秋に開催される「信楽陶芸トリエンナーレ」のイベントとして、4月の3日から6日まで、「信楽座と信楽窯元散策路の仲間たち展」が開かれ、陶器のまち・信楽が賑わいました。

窯元散策路の仲間たち展は、今年で4回目とあって、「毎年楽しみに来ているんですよ」という人も。登り窯や倉庫を使っている作品展に興味深く見入る人や、信楽焼の器で食事やコーヒーを楽しむ人も…。(撮影・山岡光広)